

発行日：2018年11月22日

担当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局  
(一般財団法人 日本花普及センター)

連絡先：03-3664-8739



## ジャパンフラワーセレクション2018-2019 切花/鉢物部門 秋審査会 審査結果の発表

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」の切花・鉢物部門は、このたび、秋審査会を大田市場花き部（東京都大田区）にて実施し、切花部門13品種、鉢物部門13品種を業界の推奨品種として選定しました。

これらの中から、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定しました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

### 【実施概要】

■ 審査会日時および開催場所：

切花部門 2018年11月5日（月）14:00～

（株式会社大田花き）

鉢物部門 2018年11月19日（月）15:30～

（株式会社フラワーオークションジャパン）

■ 審査後の展示期間：

切花部門 2018年11月5日（月）～11月9日（金）

鉢物部門 2018年11月19日（月）～11月29日（金）

■ 出品品種：切花部門13品種 鉢物部門13品種

■ 入賞品種：切花部門13品種 鉢物部門13品種

### 【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識経験者、フラワーデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

#### ■ 切花部門

\* 部門長

穴戸 純 (株)大田花き営業本部第一グループリーダー\*

卯木 則宏 (株)フラワーオークションジャパン 切花部開発課課長代理

大根 秀夫 (株)千政 代表取締役

細谷 宗令 元千葉県農林総合技術センター

増田 篤 (株)日比谷花壇 東日本バンケット事業部

#### ■ 鉢物部門

\* 部門長

長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン 取締役花の広報室長\*

岡部 幸一 (株)大田花き 営業本部第二グループグループリーダー

尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役

香取 邦枝 第一園芸(株) 新商品開発課課長

小池安比古 東京農業大学 花き学研究室 教授

向原 潤 (株)ディノス・セシール フLOWERネット本部

フラワーネット事業部 EC/事業推進ユニットチーフ



＜ジャパンフラワーセレクションとは＞

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。

審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

＜JFS受賞マークについて＞



このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

## ジャパンフラワーセレクション ガーデニング部門のご案内

＜JFS2019 春審査会・夏秋審査会 出品募集中！＞

2019年1月末締切です

審査会場：千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録をつけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

■出品料：1品種30,000円（税別）

\*以下①②の条件に該当する方は、**1品種10,000円（税別）**です。

（減免対象者が2015年4月1日から一部変わりました）

①（一財）日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A（都道府県、各種団体、企業、協同組合）

もしくは団体会員Aである都道府県内の生産育種農家。

② 全国新品種育成者の会の会員

\*千葉大への苗の搬入可能日は、毎週火曜日午前中となります。

（苗の納入日は変更になる場合があります）

■JFS出品対象品種

① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種

② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの（海外で育種されたものも含む）

③ 種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者

② 契約により日本における販売代理権を持つ者（海外で育成された品種も出品可能）



▲審査会場（露地花壇・屋根付き施設）の様子

お問い合わせはこちらへ

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局＞

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

# ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



## 1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

## 2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

## 3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

### 「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

### 「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

### 「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

### 「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

### 「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

### 「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

### 「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

### 「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

### 「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しみさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

### 「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

## 4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。

### 日本フラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞受賞品種の授賞式(東京大学弥生講堂)

2018年度のフラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞の授賞式は、2018年12月5日(水)東京大学弥生講堂にて行います。例年、内閣総理大臣夫人もしくは農林水産大臣夫人を特別ゲストにお呼びして、その年の代表的な品種を表彰しています。



(写真は2017年の授賞式の様子: 東京大学農学部弥生講堂) 特別ゲストには受賞者からお花のプレゼントが渡され、記念撮影を行います。

**ベスト・フラワー（優秀賞） [フリーディング特別賞・ニュースタイル特別賞同時受賞]**


品目名 : キク  
 品種名 : かがり弁白  
 受賞者 : 愛知県農業総合試験場東三河農業研究所  
 育成者 : 長谷川徹 始め22名  
 育成者権者 : 愛知県・国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構  
 審査講評 : 花弁の先端に複数の突起がある「かがり弁」と呼ばれる珍しい花形は、これまでのキクにはない華やかな美しさ。ブライダルなどお祝いのアレンジメントなど、年間を通じて様々な場面で利用できる。今後の花色の展開や、量産化に期待する。出荷時に花弁の傷みが出ないように、荷姿も引き続き検討したい。



ベスト・フラワー（優秀賞）、育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種としてフリーディング特別賞、斬新で優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を同時受賞した。人気投票では第5位。

**ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞同時受賞]**


品目名 : グロリオーサ  
 品種名 : ZEN  
 受賞者 : 藤井 隆志（愛知県）  
 育成者 : 藤井 隆志  
 審査講評 : ビビッドでクリアなオレンジ色が新鮮で、よく印象に残る。1枝の輪数が多く、動きがあり、用途の幅が広がりそうな、ジャストサイズの中輪がよい。グロリオーサの弱点ともいえる蕾の開きにくさが改善され、蕾も含めて1枝につき6～8輪の花が開く。硬さがある茎は曲がりやすく、扱いやすい。一般的な赤色大輪系と比較すると、約2倍の花保ちがすることにも期待する。また、グロリオーサの開発は日本ならではの事業。ネーミングも併せて輸出にも対応できるだろう。ベスト・フラワー（優秀賞）と生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞を受賞。また、人気投票では第2位となった。


**ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞・ニューバリュー特別賞同時受賞]**


品目名 : バラ  
 品種名 : シーアネモネ  
 受賞者 : 京成バラ園芸株式会社（千葉県）  
 ホームページ : <http://www.keiseirose.co.jp/>  
 育成者 : A. J. H. van Doesum  
 育成者権者 : Interplant Roses B. V.  
 審査講評 : 品種名は、熱帯の海に揺らぐイソギンチャクの英名（Sea Anemone）に由来。ガーデンローズから今回切花分野へ導入された。これまでにはなかったユニークな形の花弁は新規性が高く、キュートな美しさが印象的で、非常にフォトジェニック。草姿のバランスがよくボリュームもあるが、その反面、アレンジメントには側枝がもう少し長いと扱いやすいだろう。ガーデンローズゆえ1花の花保ちはやや短めだが、新しいスタイルのバラとして注目に値する。ベスト・フラワー（優秀賞）、モーストジョイ特別賞、ニューバリュー特別賞を同時受賞。人気投票第4位。



切花部門 秋 審査会

カラークリエイト特別賞



品目名 : セロシア (ボンベイケイトウ)  
 品種名 : アスカセレクト パオパオ  
 受賞者 : 株式会社明日香園 (佐賀県)  
 ホームページ : <http://asukaen.com/>  
 育成者 : 山口秀行  
 審査講評 :

切花部門の秋審査会では、毎年のように新たな色目が登場するセロシア。ボンベイケイトウの独特なテクスチャーに加え、本品種は個性的な花色。満場一致でカラークリエイト特別賞を受賞した。グリーンがかったピンクは独特のアンティークカラーで、合わせる花材を選ばない。昨今注目されている秋色アジサイと同じイメージで利用したい。葉がやや大きめの傾向なので、間引くなどの処理をして利用するとよいだろう。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : トルコギキョウ  
 品種名 : セレブグレープ  
 受賞者 : 住化農業資材株式会社 (大阪府)  
 ホームページ : <http://www.sumika-agrotech.com/>  
 育成者 : 谷口和範、遠藤靖典  
 審査講評 :

大輪のうえ、強めのフリルがドレッシーな印象を与える。花色は赤味のあるクリアなラベンダー色で非常に発色がよく、合わせる花材を選ばない。万人に好まれる使いやすい色目ながら、よく映えて目に留まる。花弁は厚みがあり硬くしっかりとしており、花保ちのよさも優れている。扱いやすさとバランスのよさからいって汎用性が高く、用途を選ばない。今後、様々な場面で利用されていくだろう。

ジャパンプデザイン特別賞



品目名 : キク  
 品種名 : セイリwindサン  
 受賞者 : イノチオ精興園株式会社 (広島県)  
 ホームページ : <http://www.seikoen-kiku.co.jp/>  
 育成者 : 牧野正且  
 審査講評 :

品種名のリwindは「巻き戻す」という意味。花が咲き進むにつれて細い花弁が巻きはじめ、変わりゆく花姿をじっくりと長く楽しむことができる。これは、古典菊の江戸菊で「芸」と呼ばれる特性。洋風のデザインでも利用できるよう、ブラッシュアップされたといえる。デザイナーを筆頭に、この特徴を上手く発信して欲しい。

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されるジャパンプデザイン特別賞を受賞。

モニター特別賞（秋）



品目名 : バラ  
 品種名 : シャルドネ  
 受賞者 : ばら工房パティオローズ（千葉県）  
 育成者 : 小川 宏  
 審査講評 : 水彩画のように滲んだツートーンの花色が美しく、コロコロと丸い花形はボリュームがあつてかわいらしい。花弁数が多く締まっており、形が崩れることなく球状をキープするほど花保ちがよい。トゲが多めだが茎は太く、しっかりしている。  
 大田市場内での展示中に買参人・市場関係者に対して行った人気投票では第1位を獲得した。

入賞



品目名 : セロシア（ボンベイケイトウ）  
 品種名 : アスカセレクト  
                   スペシャルグリーン  
 受賞者 : 株式会社明日香園（佐賀県）  
 ホームページ : <http://asukaen.com/>  
 育成者 : 山口秀行  
 審査講評 : カラークリエイト特別賞受賞品種の「セロシア(ボンベイケイトウ) アスカセレクト パオパオ」と同シリーズ。こちらは光沢のある艶やかなグリーン花のため、爽やかな印象がある。そのため季節問わず、アーティスティックな作品にも利用されるだろう。ポタニカルなイメージづくりや、スタンド用途にも大いに利用されたい。



品目名 : セロシア（ボンベイケイトウ）  
 品種名 : アスカセレクト ピンクレディ  
 受賞者 : 株式会社明日香園（佐賀県）  
 ホームページ : <http://asukaen.com/>  
 育成者 : 山口秀行  
 審査講評 : 目に飛び込んでくるようなビビッドな濃ピンク色は、キュートでポップな元気カラー。まさに「地上に現れた珊瑚」の比喻通りの存在感がある。光沢感とダイナミックなウェーブがリッチな印象を与え、秋～冬を中心としたアイキャッチャー花材に最適。鮮やかな花色なだけあり、採花後の退色の少なさにも期待していきたい。

## 入賞



- 品目名 : トルコギキョウ  
 品種名 : セレブクリスタル  
 受賞者 : 住化農業資材株式会社 (大阪府)  
 ホームページ : <http://www.sumika-agrotech.com/>  
 育成者 : 谷口和範、遠藤靖典  
 審査講評 : くすみのない純白で強いフリルが、ゴージャスなドレスのよう。花サイズは大輪系のなかでも最大クラスで、茎頂で咲き揃うために一層豪華さが際立っている。茎は硬くしっかりとしているので、生産者にとっては仕上げやすく、消費者にとっては扱いやすい。ウェディングなどに限らない、様々な場面での利用拡大に期待する。



- 品目名 : バラ  
 品種名 : ストロベリーマカロン  
 受賞者 : ばら工房パティオローズ (千葉県)  
 育成者 : 小川 宏  
 審査講評 : ふんわりとかわいらしいカップ咲き。適度なボリュームもあり、シルエットが極めて美しい。花容にマッチした品種名もよい。花卉はしっかりとしており、花保ちも良好。花色に見合った葉色で、全体に繊細な印象ながらトゲはやや多め。  
 人気投票第3位。



- 品目名 : キク  
 品種名 : セイカミンオレンジ  
 受賞者 : イノチオ精興園株式会社 (広島県)  
 ホームページ : <http://www.seikoen-kiku.co.jp/>  
 育成者 : 牧野正且  
 審査講評 : 様々な用途で活躍する中輪サイズのデコラ咲きマム。適度にふんわりと柔らかな印象は、同シリーズのピンク色品種「セイカミン」と同様。本品種のくすみのないオレンジ色は、秋はもちろんのこと季節を問わず利用したい。一層、用途の幅を広げてくれるだろう。



- 品目名 : キク  
 品種名 : セイマーレッタ  
 受賞者 : イノチオ精興園株式会社 (広島県)  
 ホームページ : <http://www.seikoen-kiku.co.jp/>  
 育成者 : 牧野正且  
 審査講評 : 濃厚で深みがありながら、クリアに発色する美しい赤色が魅力的。幾重にも重なる花卉は重厚で、クラシックな印象を与える。中輪サイズで扱いやすい。夏～秋の高温期でも生育は鈍らないため、秋～冬にかけての落ち着いたイメージづくりからワンポイントのアクセントとしても利便性が高く、イベント装飾用としても期待したい。

**ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞・モニター特別賞（秋）同時受賞]**


品目名 : シクラメン  
 品種名 : 月下  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社（東京都）  
 有限会社大栄花園（千葉県）  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 高橋 康弘  
 審査講評 : シルバーリーフと青花のコントラストが非常に美しい。深みがありながらも暗過ぎない花色はモードな雰囲気、ジャスミンに似た甘い芳香も好ましい。これまで鉢花を飾りにくかった場所への提案が期待でき、ライフデザイン特別賞とモニター特別賞（秋）同時受賞。強健で株姿も乱れにくい。新規性に富む花色に加え、シルバーリーフ系品種が本品目の多様性を広げることに期待する。人気投票では第1位。

**ベスト・フラワー（優秀賞） [ニュースタイル特別賞同時受賞]**


品目名 : ユーフォルビア（ポインセチア）  
 品種名 : プリンセチア オペラ  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社（東京都）  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : Andrew Bernuetz  
 育成者権者 : Bonza Botanicals Pty Limited  
 審査講評 : 幾重にも密に重なる苞が、まるでバラの花のように豪華。苞の縁がわずかにウェーブがかっているため動きがあり、ゴージャスでエレガントな雰囲気。情熱的で輝くようなローズレッドの花色は、非常によく人目をひく。耐暑性もあり、華奢に見えたポインセチアで今後はボリュームのある作りを可能にする品種であると、期待が込められたニュースタイル特別賞同時受賞。人気投票では第2位。

**ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング特別賞同時受賞]**


品目名 : ファレノプシス  
 品種名 : ナオミゴールド  
 受賞者 : 有限会社 椎名洋ラン園（千葉県）  
 ホームページ : <http://www.ranran.co.jp>  
 育成者 : 椎名 正剛  
 審査講評 : くすみのない鮮やかなイエローは、今までのコチョウランの黄花品種のイメージを大きく覆すほどのインパクト。本品目の改良の進化に敬意を表す、ブリーディング特別賞同時受賞。非常に人目をひく花色ながら上品な佇まいを感じるの、アクセントとして入る赤オレンジ系のリップがキュッと小ぶりだから。また、草姿や花の並びもよく、奇抜さだけに留まらない。人気投票では第4位。



## ニューバリュー特別賞



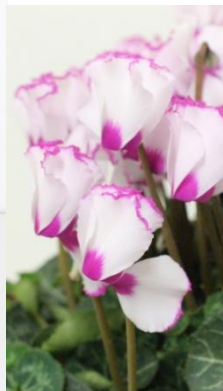
品目名 : ユーフォルビア (ハナキリン)  
 品種名 : レッドドラゴン  
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)  
 ホームページ : <http://www.simplybeautiful.jp/>  
 育成者 : Chien-Young Chu/Sheng-An Yang  
 育成者権者 : Young Sun Horticulture  
 審査講評 : とげがないハナキリンが登場。ユーザーへのセールスポイントとなるのはもちろん、生産の場でも扱いが楽になるだろう。新たな価値観に期待すべく、ニューバリュー特別賞受賞。連続開花性に優れ、花色、葉色、茎色のコントラストも良い。分枝も多くこんもりとした株姿で、とげがないぶん柔らかく優しい印象。品目としてはニッチなため、これらの長所が生きるアピール方法に期待したい。

## モーストジョイ特別賞



品目名 : ファレノプシス  
 品種名 : アイ・キューティバイオレット  
 受賞者 : アイファーマーグループ蘭工房(愛知県)  
 育成者 : 服部 健治  
 審査講評 : 一見、エキゾチックな印象で、ボリューム満点の存在感のある中大輪系の品種。よく見ると、横一文字に入る花の模様は人が目を閉じた顔のようにも見え、まるで漫画のような面白みがある。愉快的新規性は楽しい気分を呼ぶことから、モーストジョイ特別賞受賞。強烈な個性はワンランク上の気分も味わうことができる。整然とした花の並びと厚みのある花弁は特徴的で、花保ちも良い。

## 入賞



品目名 : シクラメン  
 品種名 : ミニオンブランシュ  
 受賞者 : 雪印種苗株式会社(千葉県)  
 ホームページ : <http://www.snowseed.co.jp>  
 育成者 : 平田園芸場 勝部 和志  
 審査講評 : 本品目のメインストリームとされる、ピクトリア型の小輪品種。幅広の花弁は柔らかで優しげな印象。非常に多花性で、小輪ながらボリューム感と迫力がある株姿となるため、花を散らすナチュラルな仕立て方も可能。株は固く締まり、観賞中も型崩れしにくい。5~6寸向き品種だが、小さめのサイズでも魅力が発揮できるのでは。

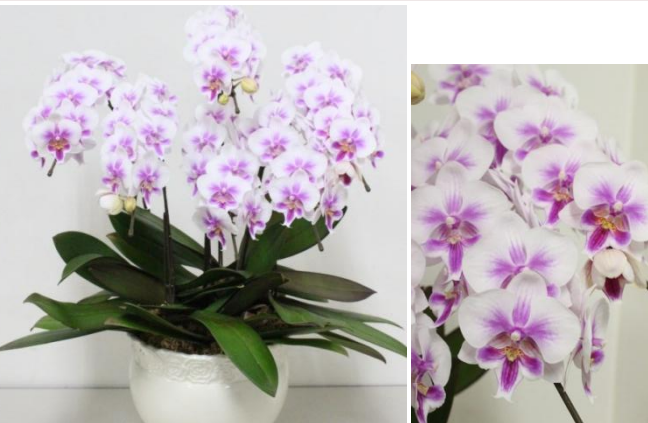
## 入賞



品目名 : ペペロミア  
 品種名 : ナポリナイツ  
 受賞者 : 株式会社ハクサン (愛知県)  
 ホームページ : <https://www.hakusan1.co.jp>  
 育成者 : New Variety B.V.  
 審査講評 : 流線型を描く葉はシルバーメタリックで、これまでにない植物らしからぬ質感をもつ、スタイリッシュな品種。葉裏のパープルとのコントラストが楽しめるが、やや上品で大人しめ。寄せ植えの脇役にしたり、単植にするならアンティーク調やナチュラルな印象のものよりも、クールなデザインの鉢を選ぶとよく映えるだろう。



品目名 : ファレノプシス  
 品種名 : アイ・オレンジシャンテリー  
 受賞者 : アイファーマーグループ蘭工房(愛知県)  
 育成者 : 服部 健治  
 審査講評 : 彩度の高いオレンジ～ピンク系品種。ポップで元気な花色に加え、ビッグリップがよく目立つアクセントとなる。グラデーションはもう少しはっきりと出た方がわかりやすく、オレンジ色が乗れば一層個性的な印象になるだろう。濃ピンク部分の色調は落ち着きがあるので、凝った鉢をしつらえて和風の提案もしてみたい。



品目名 : ファレノプシス  
 品種名 : アイ・キャデリーヌ  
 受賞者 : アイファーマーグループ蘭工房(愛知県)  
 育成者 : 服部 健治  
 審査講評 : ホホワイト～ピンク系の濃淡のグラデーションが華やかな特徴で、遠くからでもよく映える。カタログやSNS映えが期待できる。セパルと並ぶ大きなビッグリップも、新鮮味がある。万人受けよりも、個性的な一品を選びたい人に支持されるだろう。伸びやかな草姿のバランスも非常に好感がもてる。人気投票では第3位



品目名 : ファレノプシス  
 品種名 : アイ・シュシュ  
 受賞者 : アイファーマーグループ蘭工房(愛知県)  
 育成者 : 服部 健治  
 審査講評 : 柔らかな印象の品種名とは裏腹な、ワインレッド系の変わり模様のバイカラー品種。特徴的なビッグリップは好みが分かれるところだが、小輪で全体的なピンクの印象が温かみと明るさを添える。また、花つき、花の並びも非常によく人目をひく。用いる鉢やアレンジ次第で、洋風、和風ともに幅広い提案ができるだろう。

## 入賞



品目名 : ファレノプシス  
 品種名 : マンタレイピーチ  
 受賞者 : 有限会社 椎名洋ラン園 (千葉県)  
 ホームページ : <http://www.ranran.co.jp>  
 育成者 : 椎名 正剛  
 審査講評 : 品種名には「ピーチ」(桃)とつくが、その色は万人に好まれる上品で優しい桜ピンク。淡い色目の中輪ながらも、たっぷりとしたビッグリップと花つきの良さで、株全体で見ればボリューム満点。決して大輪系品種に引けを取らない、豪華さがある。幅広く対応出来るギフトなどにも重宝するだろう。人気投票では第5位。



品目名 : ファレノプシス  
 品種名 : アリアナ (出品時 S588 (仮称))  
 受賞者 : 株式会社マルイ洋蘭開発センター (群馬県)  
 育成者 : 柯文秀  
 育成者権者 : 伊早坂栄作  
 審査講評 : よく締まってごぢんまりとした株ながら、中～大輪の花が行儀よく並んでボリューム感がある。セパルとリップの濃淡ピンクのコントラストが程よいアクセントとなり、広く好まれるだろう。少し離れた位置から眺めると、改めて気品のある美しさと存在感を認識できる。葉も小さめでよくまとまり、株姿も良い。



品目名 : マリーゴールド  
 品種名 : ファイヤールボール  
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)  
 ホームページ : <http://www.simplybeautiful.jp/>  
 育成者 : Blair Winner  
 育成者権者 : PanAmerican Seed  
 審査講評 : 高温期は華やかなオレンジ色で、秋になると深いテラコッタ色からマットなオレンジ色へ咲き進む。アンティーク調の花色の変化は、本品目では画期的といえる。はっきりとした色目を寄せ植えの差し色として利用したり、何色もの花色グラデーションが楽しめるひと鉢として、間近に置きたくなる新たな鉢物として期待したい。



ご存知ですか？このマーク。  
「いい花の新基準。」  
ジャパンフラワーセレクション。